

④合成皮革

- ・汗・アルコール・整髪料・洗剤等が付着したまま長時間放置していると、化学変化で合成皮革の表面が硬くなることがあります。柔らかな布で水拭きし、乾いた布で水分と共にしっかり拭きとってください。
- ・ビニール製品や濡れたタオルを製品の上に長時間放置しないでください。変色の原因になります。

⑤金属部・メラミン樹脂

- ・柔らかい布で乾拭きをしてください。
 - ・汚れが落ちにくい時は、中性洗剤をぬるま湯で3～5%にうすめて柔らかい布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。
- その後、水を浸した布で洗剤分を拭きとり、最後に乾いた布で水分をしっかり拭きとってください。

お問い合わせ先

株式会社良品計画 お客様相談室 〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3 Tel 0120-14-6404

IDÉE

20210804

取扱説明書【イス・ソファ】

この度はイデーの製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
製品を末長く安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
また必要に応じていつでも読めるように保管してください。

Contents

1：イス・ソファの設置について

2：ご使用上の注意

3：保守・点検

4：お手入れ方法

1：イス・ソファの設置について

- ①直射日光や熱、冷暖房器具の風が直接当たらないように設置してください。
製品の変形や変色、火災の原因になります。
- ②高温多湿の部屋や通気性の悪い場所でのご使用はお避けください。
カビやダニの発生原因になります。
- ③製品は水平を保つようレベル調整してください。製品の変形やゆがみの原因になります。
- ④床面がフローリングや畳の場合、床材にキズをつけるおそれがありますので、脚部にフェルトを貼って保護したり、敷物等を敷いてご使用ください。
- ⑤床面がクッションフロアの場合、脚部にフェルトを貼って保護したり、敷物等を敷いてご使用ください。脚部の塗料と床材との反応による汚れを防ぎます。
- ⑥壁に直接触れないように設置してください。壁紙などに色移りするおそれがあります。

2:ご使用上の注意

- ①乳幼児を寝かささないでください。床への落下や窒息のおそれがあります。
- ②保護者の目の届かないところで、でお子さまだけでは使用させないでください。
思わぬ事故やケガの原因になります。
- ③製品で電化製品の電源コードを踏まないでください。
コードが破損し、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- ④製品の上に立ったり、飛びはねたり、踏み台代わりに使用したりしないでください。
バランスをくずし転倒したり、製品の破損によりケガをするおそれがあります。
- ⑤座面以外に座らないでください。思わぬケガの原因となります。
- ⑥座面に浅く腰掛けしないでください。転倒してケガをする原因になります。
- ⑦座った状態で製品を傾けるなど不安定な状態では使用しないでください。
転倒や製品の破損によりケガをしたり、床をキズつける原因になります。
- ⑧製品を移動する際は、引きずったり落としたりしないでください。
製品の破損や床をキズつける原因になります。
- ⑧化学ぞうきんでお手入れしないでください。表面の変色やひび割れ、剥離の原因になります。
- ⑨シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。
表面の変色やひび割れ、剥離の原因になります。
- ⑩アルコール消毒により、木部や金属部は表面が変色やひび割れ、剥離するおそれがあります。
消毒後は必ず水拭きと乾拭きを行い、アルコールを拭きとってください。
- ⑨製品に使用している接着剤等の成分(ホルムアルデヒドなど)により、肌の弱い方はアレルギー反応が起こることがあります。
それらの成分は特性として空気中に放散しやすいので、室内の喚起を十分に行ってください。
症状が改善しない場合はすみやかに使用をやめ、医師にご相談ください。

3:保守・点検

- ①各部にゆるみやグラつき、ひび割れなどないか定期的に点検し、異常が見られたら使用を中止してください。製品の破損やケガの原因になります。
- ②虫害を発見した場合は直ちに殺虫・防虫処理をしてください。
放置すると虫害が拡大するおそれがあります。
- ③改造および弊社以外での修理はしないでください。
製品の強度が落ち、破損の原因になります。

4:お手入れ方法

- ①木部
 - ・表面のホコリは柔らかい布かハタキで払ってから、柔らかい布で乾拭きをしてください。
ホコリがついたまま拭くと細かなキズがつくことがあります。
 - ・汚れが落ちにくい時は、中性洗剤をぬるま湯で3～5%にうすめて柔らかい布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。
その後、水を浸した布で洗剤分を拭きとり、最後に乾いた布で水分をしっかりと拭きとってください。
- ②天然皮革
 - ・柔らかい布で乾拭きをしてください。
 - ・汚れが目立つ場合は、ぬるま湯でうすめた中性洗剤を柔らかな布に浸し、かたく絞ってから叩くようにして拭いてください。
その後、水を浸した布で洗剤分をしっかりと拭きとり自然乾燥してください。最後に革製品専用のクリーナーで商品全体を拭いてください。
ただし目立たない部分で色落ちがないことを確認してから使用してください。またクリーナーは直接革に塗布せず、柔らかい布につけて使用してください。
 - ・靴クリーム等は使用しないでください。革を傷めたり、変色の原因になります。
- ③ファブリック
 - ・ブラッシングや掃除機でホコリ等を取り除いてください。
 - ・ジュース・コーヒー・お酒等をこぼした時はすみやかに拭きとってください。その後乾かないうちにぬるま湯でうすめた衣料用液体洗剤を柔らかい布に浸し、かたく絞ってから叩くようにして拭いてください。さらに水を浸した布で洗剤分をしっかりと拭きとり自然乾燥してください。ただし目立たない部分で色落ちがないかを試してから行ってください。
 - ・ドライヤーの熱風で乾かささないでください。ファブリックが変色したり、火災の原因になります。